

## 日仏のアーティストの交流が 新たなアートを生み出すヴィラ九条山

クリスチャン・メルリオ（ヴィラ九条山館長／フランス）

フランスには、国外に派遣される文化系プログラムが三つあります。その一つがイタリアのプログラムです。文化系のプログラムを最初にスタートさせたのがイタリアのヴィラ・メディチで、1666年の開館です。これはフランスのアーティストがイタリアに滞在してイタリア文化の影響、たとえばルネッサンスや古典などの影響を学ぶものです。イタリアに2、3年滞在して古典やルネッサンスを学んだあと、自国に戻ってくるプログラムです。

同じコンセプトの二つめの文化会館が、1920年にスペインに開設されたカサ・ド・ヴェラスケスです。フランスのアーティストがスペインに行き、スペインやポルトガルのアートや文化を学んでフランスに帰る。そして、いちばん若いプログラムがヴィラ九条山で、1992年に設立されました。

1980年代は、日本の文化・経済の影響力がたいへん強かった時期で、ヨーロッパを席卷していました。とくに先端技術の高画質のHDテレビは、パナソニックやソニーが人々を魅了したものです。1970年代、1980年代は、たくさんの日本映画がヨーロッパに入ってきた時期でもありました。マンガもそうです。マンガ文化がヨーロッパに入ってきて、たくさんの人たちが読む機会を得ました。さらには、日本の建築や歴史がヨーロッパに伝えられました。日本はいろいろな意味で、フランスのアーティストにとってモデルだったといえます。それゆえに、フランス政府は1990年代に新しい芸術の文化アカデミーをつくるなら、日本につくることを考えたのです。

この設計を担当したのが、日本の建築家の加藤邦男さんです。土地は約1,000平米ですから、それほど大きな建物ではありません。丘の上にごちんまりと立つ建物です。スタジオは全部で六つ。プログラムがスタートした当時は、1年の滞在で運営していましたが、現在ではもうすこし短い滞在期間のアーティストも増えてきました。応募してくるアーティストは、400名から600名くらいいます。それを精査して、最終的には年間、12名から15名が選ばれます。

どのような分野のアーティストも応募できます。ビジュアルアート、写真、絵画、料理研究、グラフィックデザイン、さらには工芸と、あらゆる分野が含まれます。応募するときはポートフォリオを提出するのですが、同時にどういうプロジェクトにしたいのかにも言及してもらいます。それをもとに、ヴィラ九条山との対話が始まるのです。日本の文化について、アーティストについて、さまざまな研究について……。ですから、アーティストの既存の作品に則って選ばれるわけではありません。そうではなく、そのプロジェクトの可能性にもとづいて選ばれることとなります。

アーティストは1名で応募することもできますし、2名のコラボレーションとしても応募できます。2名で応募する場合は、そのうちの1人がフランス人もしくはフランス在住者で、もう1名が日本人になります。いまでもこの日本人とフランス人のペアのアーティストがヴィラ九条山でプロジェクトを行なっています。日仏のアーティストがプロジェクトを共有することで、新しい日本とフランスとの関係が生まれ、新しいアートが生まれるのです。

いま申し上げたこの側面が、ほかのフランスの AIR のプログラムとはまったく違うところであり、われわれのユニークな点だと思っております。私たちのアカデミーのプログラムは、単にその場所にきてインスピレーションを受け取るのではなく、日本のアーティストなどとコラボレーションできる機会を提供しています。そこがフランスのほかの AIR と違う点です。

しかも、この AIR は日仏アーティストの対話だけでなく、日本のアーティストにとってはゲートウェイの役割を果たしていると考えています。つまり、日本のアーティストがフランスの文化やアートにふれる機会の提供です。そうして、いつかフランスにやってくる、そういう活動に携わる、もしくはそれに近い活動をする機会を与えるものでもあります。

私たちは、そのような考え方を共有することが特に大切だと考えています。日仏のアーティストがクリエイティブな活動を共有することで、新しいアートに対する共通認識も生まれます。そこにはインスピレーションを受け取るクリエイティブな活動以上のものがあると考えています。同じプロジェクトを共有することの大切さです。そして、そこから新しいそのアートとの向き合い方、新しい経験、そこから広がるもの、コラボレーションの新しい形が生まれてくると考えています。ありがとうございました。

安藤●ヴィラ九条山は、京都を一望できるロケーションのよいところにありますね。ヴィラ九条山は見学できるのですか。

メルリオ●少なくとも月に一度は、オープン・セッションの日を設けています。パフォーマンス・アートなどさまざま展示、レクチャー、いろいろなプログラムがあります。